



西之表

市政の窓



新しい時代へ
つなぐ
熱い思い



市政の窓

1997年 1月1日 No.406

風の贈り物



決して姿を見せることはないけれど
あなたはいつもそばにいて
季節の移ろいを教えてくれる
ときに 歌をうたい ときに 激しく泣き
ときに すべてをやさしく包み込む



春には 絹のようにやわらかで
夏には 木綿のようにさわやかで
秋には 朱色の布を染めあげる
そして冬

朝露に包まれた白い朝
時間さえも凍りつくような空気の中で
あなたはゆっくりと川面を漂う



春夏秋冬 それぞれの季節のページをめくり
風は 新しい生命を運んでくる
今は冷たく吹いているけれど
あなたはきっと 春の種を届けてくれるから
小さな温もりを握りしめて もうちょっと待っているね



天気予報はこの冬一番の冷え込みだと声をそろえる
でも大丈夫
背中を丸めてないで 最初の一步を踏み出せば
風はきっとわたしの味方
かじかんだ手に白い息を吹きかけて
今日が始まる

- 3 市役所新庁舎完成
- 4～5 新年を迎えて
- 8～9 税を知る週間
- 10～11 ニュース
- 12～13 ふるさとを想う
- 14 市内中学校創立50周年
- 17 知ってトクする国民年金
- 18～19 情報インフォメーション
- 21 文芸にしのおもて
- 24 はあとふる絵つせい

平成8年11月末現在

西之表市の人口

総人口	19,914人
男性	9,493人
女性	10,421人
世帯数	7,908世帯

交通事故と火災・救急

交通事故	発生件数	62件
	死者	0人
	負傷者	79人
火災	出火件数	2件
	うち建物	0件
救急	出動件数	26件
	うち急病	17件

発行・編集：西之表市役所・総務課秘書広報係
〒891-31 鹿児島県西之表市西之表7,612番地
☎09972-2-1111・FAX2-0295

市役所新庁舎完成

新しい時代にふさわしい市民サービスセンターに！

12月24日から業務開始



写真左は行政棟（地上4階、地下1階）。右は議会棟（地上3階）

新庁舎のご案内

行政棟		議会棟	
4 F	教育長室 教育委員会総務課 学校教育課 社会教育課 社会体育課 展望ロビー 農業委員会 監査委員事務局 土地改良区		
3 F	市長室 助役室 総務課 企画課 財政課 電算室 庁議室	第1委員会室 第2委員会室 全員協議会室 記者室 議会傍聴席 モニタールーム	
2 F	耕地課 農政課 建設課 水道課 都市計画課 入札会議室	議場 正副議長室 議会事務局 応接室 議員控室 議員図書室 理事者控室 議員相談室	
1 F	収入役室 会計課 商工水産観光課 税務課 選挙管理委員会 銀行 キャッシュコーナー 市民ホール	市民課 市民相談室 保険衛生課 福祉事務所 市民ロビー	
B 1	駐車場（公用車）		

なお、7月末までは旧庁舎解体工事や駐車場整備などの外溝工事が行われ、市民の皆様にはもうしばらくご不自由をおかけすることになりますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

平成7年8月から建設が進められていた市役所新庁舎の本体工事が11月30日完了。12月9日には入庁式が行われ、市職員、市議会議員らの見守る中、新庁舎玄関前でテープカットをして入庁を祝いました。また、12月14・15日に市民への一般公開、21・23日の3日間で行った越しを済ませ、新年にさきあげ、12月24日から心機一転、新庁舎での業務が開始されました。なお、新市庁舎の落成式は3月30日（日）を予定しております。



あけまして おめでとうございます

平成9年 元旦

牛歩の如く

市長 榎本 修

市民の皆さま、明けましておめでとうございます。皆さまにはご家族お揃いで清々しい一九九七年、平成九年の新春をお迎えのこと、心より慶びお祝い申し上げます。

さて昨年一年を顧みますと、ねずみのようにめまぐるしい年でありました。特に我が国の経済情勢は、政局の混迷と相まって深刻な状況を呈しておりましたが、しばらく続いておりました連合政権から、昨年十月二十日の衆議院議員選挙の結果を踏まえ、自由民主党による単独政権が発足したところであります。これまでの政府においての、景気に配慮した総合経済政策の実施によって、緩やかな景気の回復基調にあるといわれていることは喜ばしいことであります。依然として国の財政状況は厳しく、特に経済基盤の立ち遅れた離島における経済情勢は今なお厳しいものがあります。こうした現実を踏まえ、経常経費の削減、効率的財政運用を図ることも、最少の経費で最大の効果を果たすべく、最大の努力を重ねていかなければならないと決意するものであります。

また県においては、土屋知事の病氣引退を受け、須賀県政が誕生したところであります。新しい県庁舎とともに新たな活力ある鹿児島県の発展を強く望むものであります。しかし昨年は、公務員による官官接待、カラ出張、カラ会議等不正な公金の支出、贈収賄等、目にあまるものがあり、我々もその任に当たる者として、その倫理の乱れに啞然と驚き慙愧に堪えないところであります。年頭に当たり、その現実を謙虚に受けとめ恥を正し、公僕としての原点に立ち返りその姿勢を正すとともに、綱紀肅正を旨として、市民に信頼される行政の確立に邁進することを決意する次第であります。

さて本市の一年を顧みますと、年始めにシルバー人材センターワークショップ（事務所）が開設され、シルバー人材センターの事業もますます充実発展し、お年寄りの生きがい事業として定着してまいりました。一昨年八月よりの早魃は年当初まで続き、生活用水の確保も厳しくなっており大変心配いたしましたところでありましたが、住吉簡水、古田簡水、国上簡水、上水道等、その水源増補工事の実施（二月二十三日完了）により渇水による断水を行うことなく給水できましたことは、関係各位、市民の皆さまのご理解とご協力の賜物であり深く敬意を表し感謝申し上げます。また農政関係につきましては、二月十日かつてない大霜害があり、それらめ、ばれ



▲玄関を入ると、市民ロビーが広がる



▶12月6日、新市庁舎完成検査後、引渡し式が行われた

▼12月9日、真新しい議事堂で平成8年第4回市議会定例会が開会された



いしよ、さとうきび等約一億三千万円の被害をもたらしました。そしてまた、七月十八日の台風六号の襲来により、収穫直前の水稻は大打撃を受け、収穫には大変な苦勞を余儀なくされ、さらに収穫終盤にさしかかってしまったタバコにも大きな被害を与え、作物の被害推定額は約二億六千万円となりました。しかし心配いたしておりまして西京ダムは六月末で満水となりまして水源確保は万全となり、ほっと安心いたしましたところであり、今更ながらダムの有り難さを痛感するとともに先達のご貢献に心より感謝申し上げるものであります。また、一昨年より開設いたしました農業管理センターの業務も順調に運営されつつありますことは喜ばしいことであります。この一層の充実を図りつつ農家の高齢化、後継者不足の対策の一助となれば有り難いことであります。

災害の重なつた年でありましたがこれらにもめげず、農家の再生産意欲は高まり、特にそらまめ、ばれいしょ等の作付けが大きな伸びを示していることは喜ばしいことであり、今後の更なるご努力を願うものであります。また全国的に発生しました病原性大腸菌O-157につきましては、学校、保育所等関係機関のご努力と、市民の皆さまのご理解により、その対策が早急になされたことに有り難く感謝いたしております。一方、新市庁舎建設事業をはじめ、西京ダム周辺地域の整備に伴う「あつぼくらんど」の開園、第二次行政改革大綱策定、高齢者等給食宅配サービス事業、種子島マリゾン整備基本計画策定、住吉小学校校舎増改築事業など、多くの施策を推進することができました。特に新市庁舎建設につきましては、十二月九日、入庁式を行い平成八年最終市議会定例会を開催し、十二月二十四日より新庁舎での市役所業務開始ができましたことは、市民の皆さまのご理解とご協力によるものと心より感謝申し上げます。

今年は早速、市議会議員選挙が二月二日、市長選挙が三月二十三日に行われることとなっております。二十一世紀に向けて、西之表市の方向を託す、重要な選挙であります。市民それぞれの良識ある選挙がなされますことを願うものであります。さて私は、今回の新市庁舎建設を契機として、新陳代謝を図る必要性を痛感し、新しい庁舎で新しい首長と新しい組織で、輝かしい西之表市の二十一世紀を切り開き創造することを願い、今期で引退することを決意いたしましたところであります。残された任期三か月ほどではありますが、これまでの成果の上に立って、長期振興計画に策定された本年度事業遂行に向け全力を注いで参りたいと存じます。牛の如く着実に、一步一步と力強く踏みしめて、市民の皆さまが健康で、素晴らしくそして輝かしい一九九七年、平成九年でありますよう心よりお祈りいたしまして、年頭のあいさついたします。



12月9日、新市庁舎入庁式



わくわく体験！日本の島

アイランダー1996

このイベントは、全国の離島が一体となつて離島の持つすばらしさを紹介するとともに、都市部居住者からの「離島情報をもっと知りたい」というニーズに応えることにより、交流人口の増加、Ｕターン、Ｉターンを促進を図るというものです。

4回目となつた今回のイベントには全国から66の島々が参加。種子島・屋久島からは11名の職員とフレッシュ種子島が参加し、火縄銃兵衛や中種子町のベニーちゃんと一緒に、就職状況などのふるさと情報や特産品の提供、パンフレットの配布などを行い、島の魅力を大いにPRしました。

「島」で生活する人、「島」を愛する人、「島」の発展を応援する人という意味合いのもとに、離島地域の活性化を図る目的でスタートした『アイランダー1996』（主催：国土庁・財団法人日本離島センター）が、11月23日・24日の2日間、東京のサンシャインシティで開催され、1万人近くの入場者がありました。

火縄銃兵衛とベニーちゃんが種子島をPR
(アイランダー1996)



島のすてきに出会えます

鹿児島アイランドフェスタ



県知事賞に水イカ塩辛



鹿児島県水産物品評会（鹿児島県など主催）が11月22日、鹿児島市の県漁業研修所で行われました。この催しは、県内の水産加工品のレベルアップ、消費流通の改善および水産加工業の健全な発展を目的として毎年開かれており、今年も県内各地から139点が出品され、水産関係者や料理関係者らが審査しました。

その中で、種子島漁協から出品された「水イカ塩辛」がみごと県知事賞に選ばれ、その品質が高く評価されました。

皆さんも食事のおかずや酒の肴として、ぜひ一度「水イカ塩辛」を食してみてください。やみつきになるかもしれません。

お問い合わせは
種子島漁業協同組合（☎②0620）まで。

このイベントは鹿児島県内の離島が一体となり、離島からの情報発信の場を設けその魅力を紹介しながら、本土および離島相互間の人と物との交流を促進し、離島の活性化を図ろうというものです。

西之表市からは、市職員および特産品業者3社が参加して、情報誌による島の紹介やぬいぐるみによるPRのほか、特産品の展示即売などを行いました。また、オープニングセレモニーでは種子島火縄銃保存会による火縄銃の試射が行われ、会場から大きな歓声と拍手が送られました。

鹿児島県でも県内の離島28市町村が参加して、広く島外の人々にそれぞれの島の魅力を味わってもらおうと、初めての『鹿児島アイランドフェスタ』が、10月26日・27日の2日間、鹿児島本港区（北埠頭）で開催されました。



西之表市政策推進プロジェクト
ワーキンググループ中間報告会

【平成8年度で取り組んでいる課題】

総務企画部門

- 市開発計画の策定
 - ・市全体構想の具体的方向づけ
 - ・浦田海水浴場周辺開発計画との調整
- 施設の管理体制
 - ・実施に向けた具体策（民間委託又は公社）の検討
 - ・業務内容及び業務量の把握
 - ・委託施設及び委託料等の検討

民生福祉部門

- 産業廃棄物処分場の設置
 - ・基本計画の策定
 - ・設置場所の調査検討
 - ・開設までの処理方法等についての検討

産業経済部門

- 畑かん営農の確立
 - ・作物定着、生産拡大のための要件の検討
 - ・施設園芸作物の検討
 - ・団地形成のあり方についての検討（個別農家と団地とのかかわり等）
- 水産業の振興
 - ・トコフシのブランド化の検討
 - ・収益性の向上のための方策の検討
 - ・販売経路等の検討
- 特産品（地場産品）センターの運営等について
 - ・機能、役割等について検討
 - ・運営方法、内容等について検討
 - ・建物の形態について検討
 - ・名称について検討

21世紀に向かって さらに輝く職員の日！

政策推進プロジェクト ーワーキンググループー

市では、社会情勢の変化と市民ニーズに的確に対応したまちづくりを推進するため、平成2年に策定した第3次西之表市長期振興計画の基本構想に基づき、後期基本計画（平成7～11年度）を策定しました。

この計画は、総合的かつ長期的な視点に立つて、本市のあるべき姿と進むべき方向について、基本的な方針を定めたものであり、21世紀へつなぐ向こう50年のまちづくり計画です。

この計画の各分野における施策をより具体化し、実効性を高めるための方策づくりを行うため、

平成8年度は、6つの部門に62名（熊毛支庁2名、普及所3名、熊毛支場1名、農協3名、商工会1名、森林組合1名を含む）の職員が取り組み、11月12日には中間報告会を開催し、これまでの研究成果が発表され、活発な意見交換が行われました。

最終報告会に向けて今後さらに研究を重ね、市政運営に生かしていくこととなります。

また、平成7年度より政策推進プロジェクトを設置し、各分野ごとに専門部会（ワーキンググループ）を設けて、調査研究を進めています。

第25回市内一周駅伝競走大会

榕城下方 5年ぶり 優勝

総合成績

★は躍進賞

①★榕城下方 ②国上 ③下西
2時間7分24秒 2時間8分18秒 2時間9分12秒

以下、④榕城上方 ⑤伊関 ⑥現和 ⑦上西
⑧古田 ⑨住吉 ⑩安納 ⑪立山 ⑫★安城

緊張のスタート
（上西小学校前）



区間賞

- 1区 1.5km（中学女）中園めぐみ（安納）5分23秒
- 2区 3.4km（高校男）岩重 勝之（国上）11分43秒
- 3区 1.9km（一般女）小倉 和子（榕城上）6分12秒
- 4区 2.9km（一般男）川原 誠（榕城下）8分47秒
- 5区 2.6km（中3男）砂坂 義弘（榕城下）8分41秒
- 6区 2.6km（一般男）中園 智也（国上）7分49秒
- 7区 1.1km（小学男）大瀬 尊成（下西）3分38秒
- 8区 2.0km（40代男）原口 晴夫（古田）6分27秒
- 9区 1.9km（中1男）羽生 武晴（伊関）6分29秒
- 10区 1.0km（小学女）下川 恵美（下西）3分19秒
- 11区 3.6km（高校男）橋口 龍馬（現和）11分14秒
- 12区 1.2km（小学女）川脇 七恵（下西）4分06秒
- 13区 2.9km（一般男）竹之内正明（国上）9分53秒
- 14区 1.0km（一般女）木原 伸子（下西）3分22秒
- 15区 0.9km（50代男）向江 輝男（安納）2分38秒
- 16区 1.2km（中学女）持田 由美（伊関）4分20秒
- 17区 3.0km（一般男）川畑浩一郎（榕城下）9分41秒
- 18区 1.6km（中2男）中野 国治（伊関）4分09秒
- 19区 1.0km（小学男）橋元 玲二（下西）3分23秒

税に関する高校生の作文

日高真奈美さん（種子島高3年）

租税教育推進校

西之表市立榕城中学校

国税庁長官賞 国税庁長官表彰

おめでとう

国や地方公共団体は、国民が豊かで安定した暮らしができるようにいろいろな活動を行なっています。税金は、その活動のための大切な財源であり、わたしたちにとって、共同社会を維持するためのいわば会費であるといえます。

「税を知る週間」は、その仕組みや使われ方などを正しく理解していただくために設けられているもので、本市でも毎年、税に関する作品コンクールや租税教室などが開催されています。

とくに今年は、上記のとおり2つのビッグニュースがありましたのでご紹介します。

日高真奈美さん（種子島高3年）は全国126,167篇の応募の中からの受賞、榕城中学校は全国表彰3校のうちの1校という快挙でした。

自立した人間として

種子島高校3年

日高 真奈美



私の家は自営業を営んでいます。毎年両親はある時期がくると、税金のことをよく口にするようになります。私自身、あまり税について深く考えたり、詳しく勉強したこともありません。しかし、来年から私は、この生まれ故郷である種子島を離れて大学進学することになります。税について何の知識も持たずに、これから一人で生活するのは、少し恐いような恥ずかしいような気がするの

です。大学という最高学府で学ぶ者として、また、日本人として税について多少の知識ぐらい持つていなければいけないと思います。両親のもとで暮らす最後の夏に、私なりに税について考えてみるのは多かれ少なかれ、後で役立つのではないかと思っています。

私たちの暮らしの中で、税はぐるぐる循環していて、私たちもその輪の中でうまく税と付き合っていくことが、とても重要になります。なぜなら人間の一生を通して、私たちはいろんなあらゆる場面で、税の恩恵を受けて生活しているからです。これはよく考えるとごく普通の、当たり前のことなのですが、私たちは忙しさにまけてしまっていて、ともすれば生活の中の税を見落としがちな傾向にあります。私たちの毎日の、ありふれた日常生活の中に、税が生きていることをもつと私たちは認識する必要があります。よく、税を「とられて」いる、と不満そうに話す方がいますが、私はこの考え方について少し残念に思います。彼らは税を「とられて」、若しくは「払ってやって」いる、と表現することによって、税の循環の輪にうまく入りこびれてい

るのではないかと思います。生活のあちこちで生きている税を、見て見ないふりをしているのではないかと思えます。そんな行動は、一人の独立した人間として決してとつてはならない行動だと思うし、税に対して怠慢だとも思います。税のサイクルの中にうまく入り、税金をきちんと納めていくことは、日本国民として当然の、また最低限度の果たすべき義務なのではないか、と私は思います。これは間違っていないと思います。なぜなら私は、私のこれまでのたった十七年の人生を振り返ってみても、そのあちらこちらに税が息づいている姿を見つけることができるからです。そのことへの感謝も含めて、やはり納税は国民としての義務である、と私は胸を張って言いたいと思います。

私たちの今いちばん身近な生活空間である学校。その中にも、私は税が生きていることを実感しています。日本は、世界の中でも最高水準の教育制度を誇っていると聞いています。小学校から中学校までの九年間を義務教育期間として定め、国民全体の教育水準を引き上げようとすることはすばらしいことだと思います。そ

してその努力の中で、最大限に生かされているもの、それが税なのだと思います。私は日本という国が、国家全体の収入源となる貴重な税の多くを、教育のために使っていることは高く評価されるべきである、と強く思います。自分が小学生、中学生だった時には何とも感じなかった税のありがたさが、今になってより一層身近に感じられます。私は高校の入学式の日、自分で教科書を購入した時それを強く思いました。本来、自分の師となる勉強のための教科書は自分で購入しなければならないものなのに、日本では中学まで無償で配布されています。そして世界中には教科書の無償配布はむしろんのこと、義務教育さえない国が多いと聞いています。それを思った瞬間、私は日本に生まれたことへの感謝、そして納税者である父や母への感謝、この二つの感謝の気持ちでいっぱいになったことを、今でもよく覚えています。また、私の高校の部室全体がきれいに建て直された時も、同じような気持ちになりました。私たちの使っていた部室は年々ボロボロになっていき、大切に大切に使っても雨漏りがしたりしてとても困っ

ていました。そんな時に部室の建て直しの計画があることがわかり、当時私の担任をしてくださっていたある先生が、「お父さんお母さんが働いて納めた税金が、こんなふうに形を変えて我々の生活に還ってくるありがたさを忘れてはいけません。」と話されました。本当にそのとおりと思います。税はいろんなふうに姿を変えて、還ってきます。

私は今、学生ですが、あと五年もすれば、自立して自分で税を納めるようになります。納税者になる、ということはある意味で自立した人間だ、と社会に認めてもらえることだと思います。そして自分がそうしてもらったように、次代を担う人材育成に、納税という形で参加していくことができるようになります。一人一人の納める税はたとえわずかであつたとしても、それは大きな力となつて生活の中へ還ってきます。日本にはいじめ問題や福祉制度の充実など、まだまだ解決しなければならぬ課題がたくさんあります。いろいろなボランティア活動を通して、また、納税という一つの手段を使つて、これらの問題解決のために役立てる一国民でありたい、と強く思います。

もっと知りたい税金のこと みんなで勉強しています

— 榕城中学校 —



▲「勉強すればするほど、税への関心が深まってきます」と、社会科租税コースの生徒の皆さん。担当の田實康太郎先生、溝口省三校長先生と。

このほど、租税教育推進校として国税庁長官表彰を受けた榕城中学校（溝口省三校長・生徒数544名）。これは、国税庁が児童・生徒に対する租税教育を推進するなかで、特に功績のあつた学校を表彰し、租税教育の一層の推進を図るというものです。

同校では3年前から、3年生の社会科選択科目に租税コースを設けており、現在も15名の生徒が、税金の仕組みや使われ方などについて学習しています。授業では税務署の職員の方も交えて討論会を行うなど、租税教育に関して学校全体で積極的に活動しており、その功績が高く評価されました。

同校は、昨年度も熊本国税局長表彰を受けています。



式典では、記念碑の除幕も行われた

先祖の労苦をしめび…

桜園・白石—沖永良部島縁故者移住100周年—

11月10日、国上桜園、白石の両集落合同で沖永良部島縁故者移住百周年記念式典が行われました。両集落の皆さんは、百周年を機に、平成8年6月には沖永良部島に先祖の墓参にも訪れ、地元の方々とも交流を深めたところでした。

そしてこの日の式典にも、沖永良部島から11名の皆さんを迎え、ともに先祖の労苦をしめびました。また、それぞれの新しい地域づくりに向けての団結と、さらなる親交を誓いました。

忘れられない1日

榕城小6年歩こう会



▲冷たい風雨の中、みんなで声をかけあいながらゴールを目指す（赤尾木橋で）

11月30日、恒例の、榕城小学校6年PTA（実行委員長・立元誠さん）による歩こう会が行われました。この日は全国的に猛烈な寒波が襲い、種子島でも激しい風雨が吹き荒れる厳しい天候でしたが、児童110名、職員、保護者106名の計216名が参加。中種子町の野間小学校から榕城小学校までの約27・5kmを、約7時間かけて歩き通しました。

児童の気力・体力づくりと卒業前の思い出づくりにと毎年行われている歩こう会ですが、今回は、横なぐりの冷たい風雨という最悪のコンディションのなか、励ましあいながら最後までがんばった子供たち。この経験が、大きな自信と忘れられない思い出になったことでしょう。



郵便局長賞

鮫島あかりさん(下西小2年)

右…郵便貯金振興会賞
塩崎璃沙さん(上西小2年)
左…郵便局長賞
樗木香織さん(同4年)



郵便局長賞

桑鶴淳太くん(榕城小3年)

アイデアいっぱい貯金箱

—私のアイデア貯金箱コンクール—

こんな貯金箱だと、お金を貯めるのが楽しくなりそう。

このほど行われた「わたしのアイデア貯金箱コンクール」で4名の市内小学生が入賞し、平野豊司種子島郵便局長より表彰状が手渡されました。

それぞれ、風船や牛乳パック、紙コップなど身近なものを使って、工夫を凝らしたアイデアいっぱいの力作。今年のお年玉はやっぱ貯金かな？

鴻峰小で移動文化祭

第21回移動市民文化祭が11月23日、鴻峰小学校で行われ、訪れた校区民は晩秋の夜を楽しみました。
あいにくの雨降りでしたが、会場の体育館は開演からすでに満員。次々に披露される舞踊や人形劇に、時間が過ぎるのもあつという間で、心潤うひとときを過ごしました。



—第19回市小・中合同音楽祭—

リズムにのって心も踊る

11月15日、市内18の全小・中学校が参加して、第19回市小・中合同音楽祭が、市民会館で行われました。
ステップや手拍子つきの楽しい合唱や、ドイツ語での本格的な第九の合唱、お芝居したての合奏など、各学校とも工夫を凝らして、一生懸命、日ごろの練習の成果を発表。
いつもとは一味違った楽しい音楽での交流を深め、会場もなごやかな雰囲気につつまれていました。



第25回市民文化祭

市民劇場 2作品を公演

—劇団熊毛テアトロ—

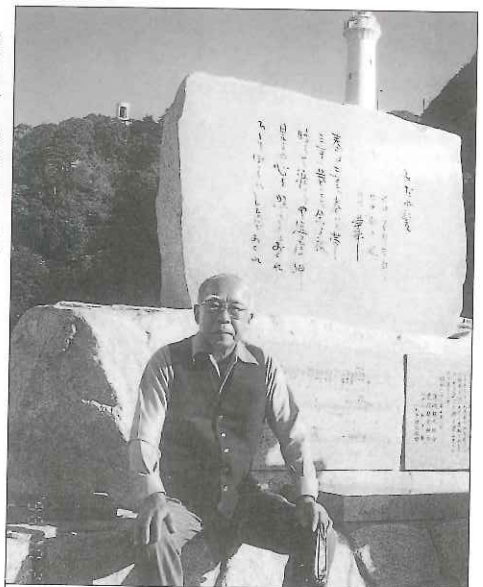
第25回市民文化祭の最後を飾る市民劇場。11月17日、市民会館ホールでは、劇団熊毛テアトロ（樋口兼治さん代表、団員19名）による公演が行われ、訪れた市民は生の演劇を楽しみました。
今年は「魔女」と「牛女房」という趣の違った芝居の2本立て。この日のために練習を重ねてきた団員の演技に、会場からたくさんの拍手が送られました。



昭和十九年二月は、私にとりまして生涯忘れ難い運命の春であります。

当時は第二次大戦のさなかでありまして、戦火が日増しに激しくなり、食糧をはじめ物資はなくなり、交通の手段もままならぬばかりか、やっと辿り着いた東京は、遠い南の島からやって来た十七歳の私には、すべてが不安で、余りにも厳しい毎日の連続でありました。

以来、五十有余年、半世紀を過ぎた現在でも、事ある毎になお懐かしく思い出されますが、これがいわゆるふるさとというものかもしれません。



日本大学舞踏研究会名誉顧問

あきら
塩屋 昶さん (69歳)

現住所：〒243 神奈川県厚木市
温水305-9

電話：0462-47-1816

出身地：榕城 東町

略歴：榕城小・種子島中学校・日本大学経済学部卒業。
日本大学経済学部事務局長を経て、平成3年11月定年退職。
現在、日本大学経済学部校友会相談役
日本大学舞踏研究会名誉顧問
東都大学学生競技ダンス連盟名誉会長
ホテルニューアカオアカオ会相談役

私は在職中、種子島で生まれ、その美しい自然の中で育った事を、何時も自慢げに話したものでしたが、おかげで「椰子の実」という渾名を頂戴いたしました。

誰でもふるさとは心の糧であり、人生の応援者であります。そして東京は、ふるさとの期待を一身に受け、青雲の志をいだいて、津々浦々からやって来た人々の厳しい競争社会でありまして、決して甘い花の都ではありません。

この中にあつて大過なく定年を迎え、しかも健康で余生を送ることが出来ますことは、ひと

えに、素晴らしい自然と人情味あふれた環境の中で、心身を鍛えながら若い日々を過ごした、心強いふるさとという原動力があつたからこそ、常に感謝いたしている次第であります。

従いまして、ふるさとは懐かしい思い出に満ち溢れ、いつまでもあの日のままであつて欲しいと願いたい気持ちもいたしますが、これは人間としての郷愁であり、出郷者の一方的なエゴというものであります。

私は趣味として磯釣りを楽しんでおりますので、時折、八丈島に出掛けております。ここは東京都でありまして、そのため

何かと恵まれているせいかもしれません。島全体が大変良く整備され、蘇鉄や浜木綿・ハイビスカス・椰子類等、南国特有の植物を満喫いたしております。そして、クッサーやモハミそれにクレウオ等が釣れますと、だまらない位ふるさとが恋しくなるのであります。

定年を機に、帰島することも考えましたが、雑用に追われていたため、その夢がかなわず、非常に淋しく残念に思っております。幸い還暦を機会に、二年毎にあります同窓会（昭和十四年榕城小卒業）に帰島できるところを大変楽しみにしています。

どうか愛するわがふるさとが、これからも自然との調和を図りながら益々発展し、より豊かな島でありますよう念願いたします。甚だ無辞ではございますが、出郷者の一員としてのメッセージとさせていただきます。

最後に、紙面をお与えくださいました関係者の皆様に心から感謝申し上げます。

有難うございました。

野村證券(株)柏支店

種子田慶茲さん (56歳)



現住所：〒270-01 千葉県我孫子市泉15-7

電話：0471-83-0398

出身地：現和 川氏

略歴：現和小・現和中・種子島高校卒業。

鹿児島大学文学部（現法文学部）卒業。

野村證券(株)株式部、業務管理部等を経て、
現在、柏支店勤務。

ふるさとを出てからはや三十八年が過ぎ、気がついてみれば定年近くになっておりました。高度経済成長の中で誠に微力ではありますが、ひた走りに走ってきたように思います。

いつかは、島の文化や歴史も詳しく調べてみようと思っていました。思っていたのですが、いつも後回しになっていた矢先、日本経済新聞で昨年の十月より種子島の鉄砲を素材にした小説『海の稲妻』の連載が始まりました。秀

吉の時代の堺の海商、納屋助左衛門が種子島で生まれ育つ前後の話から、鉄砲伝来の経緯、十四代島主時堯公、八板金兵衛が苦勞する話、榕樹（あこう）が生い繁った城から赤尾木というようになった由来、赤尾木から見る馬毛島の景色の素晴らしいこと、しゅつたち、バギー、めつかり申さん等々、種子島弁をまじえた懐かしい言葉や地名等が出てきて、興味深く面白い。まわりの人にもその都度、宣伝

（？）していることは言うまでもありません。小生も友人に送つてもらった「わたしたちの種子島―歴史編―」などをひもときながら、楽しく読ませていただいております。

歴史と云えば、小生の先祖も明治十九年、甕島よりの第一次移民として入植してから、百年になるうとしております。言葉や習慣等、多少の違いはあるようですが、私にはかけがえない自慢できるふるさとです。当時の役所の関係者はもとより、地元の皆様の温かい援助のおかげで、今日があると思っております。

戦後の二十年代、三十年代は、子どもたちや若い働き手も多く活気がありましたが、激しい過疎の波に洗われて、残った人も高齢化が進み、市の行政や産業育成、自然保護等もさぞやりにくいことと思います。若者をいかに定住させるか、老人介護をどうするか等々問題が山積みで、役所も苦勞が多いことと思えますが頑張ってください。

たまに帰省すると、舗装道路

が縦横に走り、港も大きくなり、非常に便利になったと感心するばかりです。その反面、山には木がなくなり、海岸の蘇鉄は姿を消し、川のダクマや海のミナナガラメも激減し、失ったものも大きいように思います。しかし、まだまだ残っている自然も多いと思えました。数年前、安納と庄司浦の海岸で素晴らしい珊瑚に出会ったことがありました。こんな立派なテーブル珊瑚などが、よくもこんな身近に残っていたものだと思奮もし、感激しました。

ふるさとを我が青春時代のアルカディア（理想郷）で終わらせたくありません。亜熱帯地方の特色を出した、例えばあこうの木でうめつくした公園、蘇鉄やガジュマルが生える海岸等々、アンケートでもとってみてはどうでしょうか。既にそのような企画はあるかもしれませんが、何かお役に立てることがあれば協力を惜しみません。

この「ふるさとを想う」の欄が、そのようなキッカケにでもなればうれしいかぎりです。

今回の「ふるさとを想う」は、東京都足立区にお住まいの徳永三伍さん(57歳・中割生姜山出身)です。お楽しみに。

市内6中学校 創立50周年

平成8年、市内6つの全中学校は創立50周年を迎えました。

昭和22年4月の学制改革により、それまでの国民学校を小学校と改称、各高等科を中学校に移したのが始まりでした。以来50年、それぞれの地域で、地域民に愛され、ともに成長してきた中学校。学校は、どんなに時が流れてもみんなの心の中にある、第2のふるさとともいえる場所。その時々の子どもたちの喜怒哀楽、さまざまな表情をやさしく見守ってきました。

各中学校では記念碑の建立や、モニュメントの作成、記念講演会など、さまざまな記念行事を行い、創立50周年を祝いました。



11/16 現和中では、校訓「風に向かって」が刻まれた記念碑を建立



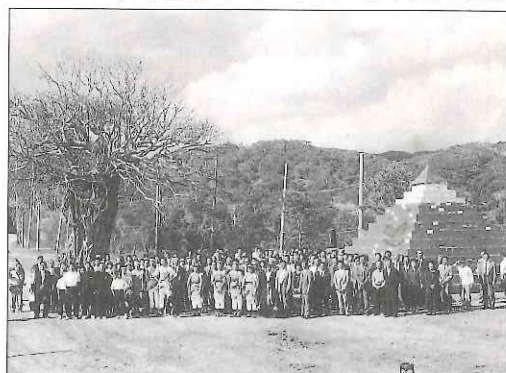
11/30 榕城中では、在校生が空きカンを集めてつくったモニュメントが飾られた



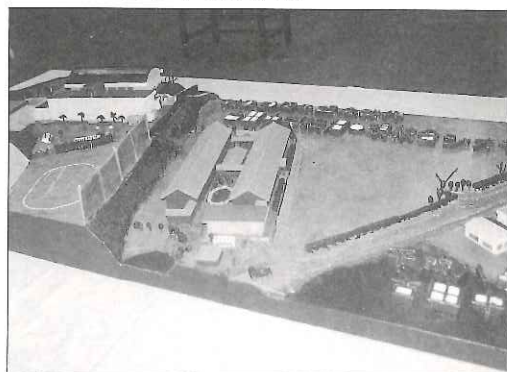
11/17 住吉中では生徒を代表して3年の伊豆元里美さんが喜びのことばを語った



5/19 国上中では記念碑を建立。中には在校生がタイムカプセルを入れた



11/3 安城中では、全国の卒業生から送られたレンガで「太陽の子の塔」をつくりあげた



11/17 古田中では、式典会場に在校生がつくった校舎のジオラマが飾られた

時代の波を乗り越えて50年
それぞれの誕生日

英語でCommunication!

—市中学校英語弁論暗唱大会—



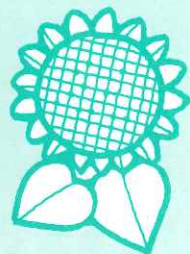
▲身振り手振りをまじえて、流ちょうな英会話

日頃の英語学習の成果を発表する第13回市中学校英語弁論暗唱大会が、11月22日、市民会館で行われました。

暗唱の部には24人の生徒が課題文で参加。また、弁論の部では、3年生を中心に6人の生徒が、それぞれのテーマで発表しました。最初はみな、緊張した面持ちでしたが、発表前、ALTのエヴァン・マツカヴォイさんとの楽しいウォームアップで緊張がほぐれたのか、本番では身振り手振りを交えて、リラックスしたムードの中、堂々と発表できたようでした。

12月4日～10日は人権週間

他人のなにげない言葉やしぐさに、心を痛めたことはありませんか。
逆に、自分のなにげない言葉やしぐさが誰かを傷つけているのかもしれない。
自分を思うように、相手を思う。
それは、簡単なようでとても難しいこと、難しいようでとても簡単なこと。
12月の人権週間にちなみ、1通のお手紙をいただきました。
ここに、原文のままご紹介します。



消えていく言葉「部落」

羽嶋 正博

(池野、61歳、元教員)

近頃はどこに行つても「部落」という言葉が「集落」と呼ばれるようになってきているようです。そう呼ぶように行政あたりからの指導なのでしょうか。それはそれで可として、その意味が分かつているか否かが大事だと思います。

「部落」すなわちそれは、被差別部落のことです。被差別部落の実態を知っているかどうかは分かりませんが、話中に「部落」という言葉を使えば、それは良くないんだという考えを持てば、それは逆に、心の中に差別意識を持つことになります。

勿論、私たちのところには、歴史的に被差別部落はありません。故に「部落」と言つたつて間違いいではないはずです。それよりも同和教育を本当に知ることの方が大事ではないでしょうか。

同じ赤い血の流れている人間として生まれながら、住む場所を決められ、制限されて、姓が決まっているばかりに就職差別をされ、結婚差別をされ、時には牛馬の如く扱われ差別されてきた人達。今の世の中でそ

うことがあっていいものでしょうか。私のうがつた考えかもしれませんが、私たちが「部落」などという言葉がなくなりつつなつてから、子ども達のいじめや自殺などが多くなりだしたような気がします。学校での同和(人権)教育は、正しく行われているのでしょうか。

この前も、県教委と県同教の主催で同和教育研究大会が開かれていましたが、そういった所に大いに出会して生の声を聞いてほしいと思います。校区の指導者(区長さん)や民生委員さんなど大いに勉強すべきことではないでしょうか。勿論、学校関係者も然りです。

もつひとつ、先入観として、「あの子はこの子かい、誰が子かい。」「何処の誰々の子よ。」「あはあん、じゃからよ。」などといった言葉が良く出るものです。

その子にはその子なりの理由を考え、行いなどがあるはずです。自分勝手な考えでなく、その人を正しく理解する事が大事なのではないのでしょうか。

我が子が可愛いのと同じく、その子の親もやはり子どもが可愛いのです。どの子も差別なく正しく育ててやりましょう。

だから
・香りの効用
・ミネラル補給
・抵抗力・免疫力アップ
・食物繊維豊富
食べよう

●七草がゆの作り方●

- ①米を洗ってざるにあげ、1時間ほど置く。
- ②米1に対して5倍ほどの水を入れ、火にかける。
(鍋は土鍋、または厚手のものがよい)
- ③沸騰したら弱火にして40～50分煮る。
- ④ふきこぼれそうになったら、少しふたをずらす。(途中かきまぜないのがコツ)
- ⑤火を止める直前に刻んだ七草を入れ、塩をひとつまみ加えて、ふたをする。
- ⑥5分ほどおらしてできあがり。



初春の佳き日には澄んだ頭で、さて一句

せり なずな ごぎょう はこべら ほどけのさ
すずな すずしろ これぞ七草

いかに頭が澄もうとも、食い気の勝る凡人の性?

「盆と正月が一緒に来たよう」という言葉が、ありがたくてうれしい気持ちの最上級表現であることは今も昔も変わらないのでしょうが、こと食生活に関しては、特別な日とそうでない日の境がはつきりしなくなっているこの頃です。

日頃の偉大なる胃腸の働きに敬意を表して、このお正月くらいは胃にも喜びを分けてあげてはいかが。

胃の正月にぜひたくは敵なりー

飽食の時代にあつては、粗食こそぜいたくでしょうか?



しもやけの
予防 と 治療

保温と
マッサージで
血行を促進



寒くなつてくると指先のしもやけに悩まされる人も多いのではないだろうか。

しもやけになるのは、寒さで血管が縮み、血行が悪くなる状態が続いたとき。症状が進むと、水ぶくれになったり、内出血を起したり……。『たかがしもやけ』とあなどるなかれ、悪化すれば立派な凍傷。手術しなければならぬこともあるのです。

予防の第一は血行を良好に保

つこと。しもやけのできやすいところをお風呂に入りながらマッサージしたり、乾いた布でこするの血行促進に役立ちます。水仕事にはなるべくお湯を使い、終わったら冷えないように手をよく乾かし、マッサージ。外出時にはハンドクリームなどで皮脂を補い、手袋などの防寒対策も忘れずに。足の指の場合、厚手の靴下をはいて靴がきつくなるのも血行を悪くする原因になります。冬場はやや大きめの靴をはくとよいでしょう。

それでもしもやけになつてしまつたら、血行を促進する軟膏とかゆみ止めの軟膏を併用します。内服薬を服用することもあります。症状がひどいときには皮膚科に相談してください。



知って トクする 国民年金

国民年金への 届け出

就職、退職、結婚などによって加入者の種類が変わることがあります。届け出をしなかったために将来年金が受けられなくなる場合がありますので、人生の節目、節目には必ず届け出をしてください。

届け出に必要なものは年金手帳、印鑑などの他に、書類が必要な場合もありますので、届け出前にご確認ください。



サラリーマンのおくせんについて

保険料を納める必要はありませんが、第3号被保険者としての届け出をしなければなりません。また、ご主人の給料から奥さんの保険料が差し引かれるわけでもありません。

系内めた保険料は
社会保険料控除として
所得控除の対象になります。
年末調整や確定申告の際、
忘れずに申告してください。

保険料は
所得控除
の対象
になります!



詳しいお問い合わせは…市民課国民年金係 ☎ 21111 (内線303)

働いている調理師の方は、就業届を出すことが義務づけられています

平成6年より開始された就業する調理師の届け出制度ですが、届け出は2年ごとに行うこととなっており、今回はその2回目です。提出期限は平成9年1月15日（水）までとなっておりますので、平成8年12月31日現在の状況をご記入のうえ、西之表保健所まで届け出てください。届け出用紙は西之表保健所に備えてあります。

【問い合わせ先】 西之表保健所 ☎2-0777



information

戦傷病者等の妻の方に対する**特別給付金請求手続の****お知らせ**

前回支給された国債が平成8年に最終償還を迎えたことから、同年の改正により、対象者に対して次の4つの措置がとられました。

○戦傷病者等の妻の方に対する特別給付金の継続支給

○戦傷病者等の妻の方に対する特別給付金から戦没者等の妻の方に対する特別給付金への移行

○戦傷病者等の妻の方に対する特別給付金の特別支給

○新たに請求のあつた戦傷病者等の妻の方に対する新規支給
以上のことに該当される方々について、市福祉事務所では現在、請求手続を行なっています。

情報

請求がお済みでない方は早めに手続を行なってください。

【受付窓口・問い合わせ先】

市福祉事務所 保護係

☎11111（内線323）

平成9・10年度**教育改革モニター****募集**

文部省では、平成9・10年度教育改革モニター（教育改革に関する意見提出協力者）を募集しています。

モニターの皆さんには、教育改革に関する諸施策を実施するにあたり、文部省から依頼するテーマについて、モニター自身の周辺、地域の人々の意見等も聴取のうえモニターとしての意見をまとめ、文書によつて提出していただきます。

【募集人員・モニター期間】
500人・2年間

【応募資格】 教育改革について関心がある満20歳以上の方

【申込締切】

平成9年1月17日（金）

【申込・問い合わせ先】

鹿児島県教育庁総務課広報係

☎099-286-2111

（内線5189）

あなたの声からはじまる**道づくり**

私たちの暮らしや経済を毎日支えている「みち」。そのつくり方について、これまで一般の人々が知る機会や意見を言う場は限られていました。

そこで、平成8年5月末から7月末にかけて、建設省の諮問機関である道路審議会に設けた「21世紀のみちを考える委員会」が、皆さんから「みち」に対するご意見を募集したところ、全国約3万5千人の方から11万件を超えるご意見をお寄せいただきました。

いただいたご意見は同会において分析・検討を行い、その結

果を「ボイス・レポート」としてまとめました。

これをきっかけに皆さんの声を生かした新たな道づくりを努めていきたいと思えます。多くのご意見をありがとうございます。

【問い合わせ先】 鹿児島県土木部 道路建設課 計画調整係

☎099-286-3537

調停相談所を**開設します**

種子島調停協会では、調停相談所を開設します。

民事・家事・刑事等に関する問題でお困りの方は、遠慮なくお気軽においでください。

秘密は厳守します。

【日時】平成9年2月3日（月）～2月7日（金）
午前10時～午後3時

【場所】種子島簡易裁判所相談室（種子島開発総合センター前）

【相談料】 無料

【問い合わせ先】

種子島簡易裁判所 ☎20159

11月の青果市況

種子島公設地方卸売市場

入荷量 150.5トン		島内産 30.2トン(20.1%)	
		島外産 120.3トン(79.9%)	
取引額 2,668万円		島内産 691万円(25.9%)	
		島外産 1,977万円(74.1%)	
区 分	島 内 産		島 外 産
	入荷量kg	取引額千円	入荷量kg 取引額千円
野菜類	根 菜 類	5,011 674	13,236 1,141
	葉 茎 菜 類	12,940 1,713	32,346 2,408
	果 菜 類	2,499 496	8,741 1,209
	そ の 他	6,799 1,770	16,493 3,167
	小 計	27,249 4,653	70,816 7,925
果物類	かんきつ類	531 62	16,686 3,939
	果 瓜 類	0 0	1,225 223
	そ の 他	193 270	31,407 7,194
	小 計	724 332	49,318 11,356
鳥卵・加工品等		2,271 665	134 39
花 類		86.1千本 1,264	8.3千本 446

- 野菜、果物、花類の出荷をご希望の方は種子島公設地方卸売市場（天神町②0216）をご利用下さい。
- 日曜、祝祭日と毎月第2水曜日、市場は休みです。

1月10日は「110番の日」

～安心を つなぐかけ橋 110番～

毎年1月10日は「110番の日」です。110番は、皆さんと警察を結ぶホットラインとして広く定着しています。平成7年中の鹿児島県内における総通報件数は72,327件。そのうち29,145件はいたずらや間違い電話でした（真報は43,182件）。

110番をかける際には、「いつ、どこで、何があったのか」をはっきり落ち着いて話し、現場の目標となる建物なども伝えましょう。

なお、110番は緊急通報専用ですので、相談、各種照会等お急ぎでない用件は、警察相談専用電話（警察本部）をご利用ください。

●プッシュ式 #9110

●ダイヤル式 099-206-0110

免許に関するお問い合わせなどは、種子島警察署（☎②0110）へ電話してください。



～相談は 真心ダイヤル #9110～

「国の教育ローン」のご案内

高校、短大、大学、専修学校等への入学資金や、授業料などの在学資金を融資する公的制度として、国民金融公庫の「国の教育ローン」があります。

制度の概要は、次のとおりです。

ご 融 資 額	学生・生徒お一人につき 150万円以内
利 率	年 3.1% （固定） ※平成8年11月11日現在
ご 返 済 期 間	8年以内 交通遺児家庭または母子家庭の方は1年の延長が可能です。
据 置 期 間	在学期間以内で元金据置き可能 ただし、最長4年
保 証 人	（財）教育資金融資保証基金 または 保証人（1名以上）



【お問い合わせ先】

国民金融公庫鹿児島支店
☎099-224-1241

広報紙の郵送料（切手）を次の方々からいただきました。ありがとうございます。

吉村 博幸さん（鹿児島市）
吉本 淑江さん（愛知県刈谷市）
南 武久さん（神戸市須磨区）
土屋知夏朗さん（宮崎市）



はたちの献血キャンペーン
（1月11日～2月10日）

商店や中小企業で働く皆さんへ

鹿児島県労働者信用基金協会の保証で、労働金庫から借入できる制度があります。（ ）内は融資額。

お近くの労働金庫または労信協へお気軽にご相談ください。

○勤労者ファミリー資金（60万円～100万円）

○生活ローン（500万円まで）

○教育ローン（500万円まで）

○マイカーローン（500万円まで）

○住宅ローン（5,000万円まで）

お問い合わせは

鹿児島県労働金庫種子島支店 ☎2-0832

鹿児島県労働者信用基金協会

☎099-226-1316



2月2日は

西之表市議会議員選挙の投票日です

【投票時間】 午前7時～午後6時

(伊関・安納・安城・古田は午後5時まで。
立山・中割は午後4時まで。)

【投票所】 各小学校内の特設会場

(住吉校区は住吉中央公民館)

市民会館、市民体育館

【不在者投票】 1月26日(日)～2月1日(土)

午前8時30分～午後5時

投票所は選挙管理委員会事務局隣り会議室(新市庁舎行政棟1階)

【問い合わせ先】 市選挙管理委員会事務局

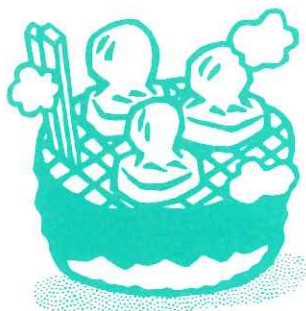
☎0111(内線277)

一市政を決めるあなたの一票
忘れずに投票しましょうー



3月23日は

西之表市長選挙の投票日です



日高みさと	森永ひかる	鮫島将太	吉田稜佑	南直菜子	鎌田貴久	細山黎奈	安樂成美	梶原航	田中翔	畑山隼人	榎本瑞江	出生児
裕二	緑人	貞宏	政一	慎一郎	新忍	久志	恭二	純一	澄徳	保護者		
洲崎	西之	現和上之	洲崎	野首	小牧	小牧	上石	松島	古田中	村之	伊関	住所

おめでとう
うぶごえ



うぶごえ・ごめいふくは
11月中の受け分です。
(敬称略)

平山クミ	今井友一郎	遠藤茂七	宮下榮三	熊野二生	福留實	酒井ミヨシ	長野フクエ	西万四郎	濱山タナエ	中島周八	水口山助	武田ツル	牧瀬ツル	遠藤照子	清水場トコ	氏名
97歳	65歳	87歳	81歳	67歳	78歳	95歳	80歳	74歳	77歳	76歳	85歳	84歳	82歳	61歳	93歳	年齢
小牧園	桜	川	朝日ガ	池野	東	西	浜之	湊	鴨女	洲	裕城	湊	川	西	住吉中之	住所

ごめいふくを
お祈りします

文芸にしのおもて

風よ吹け

久保 浩一

人間は自然の中で生きている
自然と共に暮らしている
しかし私たちは忘れかけている
自然の中で暮らしていることを
そして
自然からの大切なメッセージを

風よ吹け

もともと吹け

忘れかけている心を取り戻すために
自然の素晴らしさ
自然の怖さを思い出すために

人間は希望を持ちながら生きている
希望があるから生きていける
しかし私たちは失いかけている
希望を持ち前進することを
そして
人間の持つ優しさを

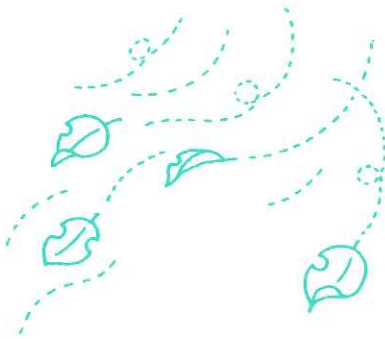
風よ吹け

もともと吹け

失いかけている心を取り戻すために
希望を持ち夢を育て
人間の優しい心を思い出すために

風よ吹け

もともと吹け



白き餅ふくらみゆくを凝らし見る必至破裂の時をまちをり

(田屋敷・赤尾木二郎)

見習いて久しく芝刈る我の背に天の嗤いか秋の雨降る

(松畠・沖吉富寛)

ひまわりは金の帽子を身にまとい道行く人に微笑みかける

(現和・鎌田仁子)

これ以上言へば汚れし愚痴となる夜に冷たき風が耳ゆく

(納曾・河内雅美)

黒雲の切れ間に赤く朝焼けが田の面に映り輝いている

(平田・中村妙子)

頬紅を差したるごとく陽を受けて雲は秋空高く染まれり

(湊泊・浜松マリ子)

なだらかな墓地の小道に彼岸花雨のしずくに服ぬらし行く

(鴨女町・日高和代)

霜晴れや火種の如く朝日出づ

(札幌市・桔梗恵子)

大地また木の実の音を容れにけり

水音の流れは見えず秋桜

(北九州市・久保絹枝)

秋雨の兆し病臥す夫にも

(野首・福田桂子)

点滴の落ちる早さよ日の短か

去年今年刃を改めて髭を剃る

(田屋敷・和田 肇)

作品募集

このコーナーでは、皆さんの作品を募集しています。「市政の窓」係まで。

図書館

開館：午前8時半～午後5時
休館日：毎週月曜日
第3日曜日
祝日
貸し出し：1度に3冊以内
1週間



【推せん図書】

明治維新の偉人たち その虚像と実像 早乙女 貢

明治維新の偉人たちの実像は、利権、収賄に血道をあげる現在の政治家や、高級官僚も全く変わることなく続いている。このままでは日本に将来はないと感ずるのは私一人ではあるまい。

【新着図書】

○心ふくらむおはなし 1～6年生

日本児童文芸家協会編

○いじめなんかはねかえせ 谷澤 忠彦

○生涯学習を始めよう 山本 恒夫

○香港返還で何が起きるか 加藤 鉦

○がんからの生還 西川 孝純

○こちら泌尿器科110番 入澤 俊氏

○自分の器を大きくする法 本明 寛

○昭和を振り回した男たち 半藤 一利

●明治維新の偉人たち その虚像と実像

早乙女 貢

○正史赤穂義士

渡辺 世祐

鉄砲館

1月の展示 ●島内高等学校美術展 12/26～1/24
●パッチワーク展 1/26～2/18

開館：午前8時半～午後5時 休館日：毎月25日
入館料：小・中100円、高200円、大人300円(市民作品コーナーは入場無料)

平成9年	休日在宅医	休日営業スタンド				
1月1日(水) 元旦	田上病院 松島☎0960	全	店	休	業	
2日(木)	松崎医院 西町☎2455	全	店	休	業	
3日(金)	中目医院 野首☎0350	全	店	午 前	中 営	業
5日(日)	多愛病院 中目☎2401	三栄石油商会 天神☎1251	市農協第3 松島☎0128	内門商店 沖ヶ浜田☎0291		
12日(日)	井元医院 東町☎0075	種子島石油 鴨女☎1347	鮫島石油店 現和☎0005	江口石油店 国上☎0808	向江商店 安納☎1147	
15日(水) 成人の日	池田医院 天神☎0260	市農協第1 川迎☎0543	有馬石油店 松島☎0122	中村石油店 現和☎0021		
19日(日)	田上病院 松島☎0960	有馬石油店 西町☎0121	瀬下石油店 住吉☎3836	川添商店 現和☎0810	水口石油店 国上☎0007	
26日(日)	松崎医院 西町☎2455	種子島石油 東町☎1345	徳永石油店 安城☎7379	一口石油店 安納☎1111		
2月2日(日)	中目医院 野首☎0350	三栄石油商会 天神☎1251	市農協第2 石堂☎1219	内門商店 沖ヶ浜田☎0291		
9日(日)	多愛病院 中目☎2401	種子島石油 鴨女☎1347	鮫島石油店 現和☎0005	江口石油店 国上☎0808	向江商店 安納☎1147	
11日(火) 建国記念の日	井元医院 東町☎0075	市農協第1 川迎☎0543	有馬石油店 松島☎0122	中村石油店 現和☎0021		
16日(日)	池田医院 天神☎0260	有馬石油店 西町☎0121	瀬下石油店 住吉☎3836	川添商店 現和☎0810	水口石油店 国上☎0007	
23日(日)	田上病院 松島☎0960	種子島石油 東町☎1345	徳永石油店 安城☎7379	一口石油店 安納☎1111		

- 1 水 元日 新春体力づくり大会(各地区公民館)
- 2 木
- 3 金 成人式(午前10時～、市民会館)
- 4 土
- 5 日 小寒
- 6 月 仕事始め
- 7 火 七草
- 8 水 市内小・中学校始業式
- 9 木
- 10 金 110番の日
- 11 土 「はたちの献血」キャンペーン(2月10日まで)
- 12 日 市スポーツ少年団親子駅伝大会、南日本10K通信競走大会
- 13 月
- 14 火
- 15 水 成人の日
- 16 木
- 17 金 防災とボランティアの日
- 18 土
- 19 日
- 20 月 大寒
- 21 火
- 22 水
- 23 木
- 24 金
- 25 土
- 26 日 第37回種子島地区武道大会(南種子町)
- 27 月
- 28 火
- 29 水
- 30 木
- 31 金

今月の こよみ



お年玉

お年玉をもらえない大人になったら、かわりに、心にたくさんのお年玉を貯めていこう。

たとえば新しい出会い、新しい挑戦、それぞれの生活の中で経験する喜びや悲しみ。そしてそれは自分にとって、きつとかけがえのない財産となる。千両になるか万両になるかは貯め方しだい。見守るように庭で赤い実が揺れている。



躍進賞の安城チーム

総合優勝・躍進賞の榕城下方チーム

第25回 市内一周駅伝 競走大会

今月の表紙

11月24日、今にも雨が降り出しそうな曇り空のなか、ピストルの音と同時に、中学生女子がいつせいに駆け出しました。第25回市内一周駅伝競走大会のスタートです。

今年は上西小学校前を出発して国上、伊関、安納、現和と市内北部を駆けぬけるAコースで、全37・2kmを12チーム、228人が健脚を競いました。

中割校区の欠場という残念なニュースもありましたが、各校区代表の選手たちは校区民の期待を背負い、懸命の走りで、一本のタスキをゴールまでつなぎました。レースは榕城下方が全体的に安定した走りでトップでゴールイン、5年ぶりの優勝を飾り、同時に躍進賞も手にしました。

時おり小雨もぱらついたあいにくの天気でしたが、選手懸命さと沿道から送られる声援に、心が暖かくなった一日でした。(大会成績は7ページに掲載)

風のスケッチ



—— 四季を彩る自然の草花 ——



ツワブキ—石路— (キク科)

島の初冬を彩るツワブキの花。日に日に増していく寒さの中で、そのあざやかな黄色は、小春日和のようなぬくもりを感じさせます。恒例の市内一周駅伝競走大会でも、沿道に咲くツワブキに元気づけられた選手も多いことでしょう。

花暦では12月の花になっているこの花の名の由来は、大きな葉がフキに似て光沢があるので、艶のあるフキ、ツワブキが転訛したといわれています。

春には太い茎を佃煮にしたり煮しめたりして、食卓にのぼることが多く、郷土料理には欠かせないものです。ツワブキはいろいろな形で、一年中私たちを楽しませてくれます。

(中割万波で撮影)



夢のかから

—— ポケットの中にはビスケットがひとつ

たいていみるたびビスケットは増える

お腹いっぱいお菓子を食べたい。色とりどりのおもちゃに埋もれて心ゆくまで眠りたい。暗くなるまで遊んでみたい。明日のことなど考えず、好きなことだけしていたい。大人はいいな、宿題なくて。早く大きくなりたいな。

指おり数えてその日待って、年は重ねてみたけれど…あふれるほどのお菓子を前に、手まねきしてのおもちゃの前に、あの頃ほどには心おどらず、他のことなど気にかかる。

夢見たものや夢見たことは、いろんな形で手に入る。暗くなるまで遊んでも、好きなことだけできたとしても、楽しいばかりじゃないことを教えてくれるおまけつき。たったひとつのビスケット、握りしめたら砕けたから、そつとたたいて増やそうか。今夜の夢が、そんな夢でありますように。へん

